

【高等学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	:十分達成できている
B	:おおむね達成できている
C	:やや不十分である
D	:不十分である

学校名	佐賀県立嬉野高等学校
1 前年度 評価結果の概要	嬉野高等学校は「塩田校舎」と「嬉野校舎」からなる校舎制をとっていることから、校舎制の強みを活かして地域から必要とされる学校づくりを目指している。両校舎ともに今までの教育活動における成果は出ているが、さらに両校舎生徒・職員の間を強めつつ、協力体制をとることで、「地域に必要とされる高校」としての課題を解決していくことが必須である。
2 学校教育目標	校訓である「躍動」「錬磨」「敬愛」の精神のもと、それぞれの専門学習領域の強みを活かした教育活動を総合的に展開し、これからの社会で生き抜くために必要な学ぶ力と敬う心を育み、志を持って地域と社会に貢献できる広い視野と専門性を持った産業人を育成する唯一無二の学校づくりを目指す。
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>「校舎制」のメリットの最大化を通して、中学生および保護者から選ばれる学校づくりを目指す。</li> <li>生徒の個性・特性に応じた学習指導および生活指導を実施する。また、地域社会に貢献する高い専門性を有する生徒を育成する。</li> <li>生徒の社会的自立に向け、主体的に学ぶ力、資格、専門的な技能や高い学力を身につけさせる。</li> <li>社会的自立に向けた人間関係力の育成のため、「両校舎 合同行事」の充実を図る。</li> </ol>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者
(1)共通評価項目				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組							
●学力の向上	○基礎学力の向上 ○「わかる授業」の実施	○家庭学習時間の調査・呼びかけを行い、毎日の家庭学習の充実を目指す。 ○小テスト(10高得点を年間を通して実施し、クラス平均点が「7点以上・80%」を目指す。 ○Formsを利用した授業アンケートにより、わかる授業実施率「80%」以上を目指す。	・定期的な家庭学習の記録調査を実施する。 ・小テストの前に事前課題を準備し、生徒の自宅学習を行う時間確保を図る。 ・わかる授業の実践のため、教師の日々の授業の工夫と改善に努める。 ・わかる授業の実践のため、Formsを利用したアンケートをもとに教師の日々の授業の工夫と改善に努める。							
	◎探求心の向上	○専門教科で資格取得指導を行い、前年度合格率の「10%UP」をめざす。	・各専門教科で積極的に資格取得指導に努める。 ・昨年度を振り返り、教科で課題を共有し、指導を行う。							
	○ICT機器を活用した授業の実施	○電子黒板・学習用パソコンの教育活動における利活用率「70%以上」を目指す。	・校内研修を通じ、全職員の取り組みを共有する。 ・天災地災や感染症などへの対応のために「リモート授業」の実践に取り組む。							
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳教育の全体計画に基づいて授業を行った教員「90%」を目指す。	・人権・同和教育講演会を実施する。 ・「情報」「LHR」において情報モラル教育、道徳保障、人権教育を実施する。							
	●いじめの未然防止・早期発見・早期対応に向けた取組の充実	●法によるいじめの正確かつ積極的な認知及び適切な対応の「100%」を目指す。	・いじめの認知・寛知に対する対応マニュアルを見直し、全職員に周知する。 ・いじめの対応等についての研修・会議を「年3回」以上行う。							
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	○「佐賀県に誇りや愛着を感じる」「どちらかというと感じる」と回答する生徒「90%」以上を目指す。	・各地域の郷土学習資料や「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む。							
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○朝食をとって登校する生徒「90%」以上を目指す。 ●「健康に良い食事をしている」生徒70%以上を目指す。	・生活状況調査、食に関する意識調査を実施する。 ・食育日より年間3回以上発行する。 ・保健だよりを年間「10回」以上発行する。 ・健康診断結果に基づき早期治療の指導を徹底する。							
	○健康の保持増進のため体力向上	○健康・体づくり推進プランを実施して、健康保持・増進、体力の向上を目指す。 ○新体力テストで各生徒が「5%の得点UP」につなげるために、体づくり運動を毎学期取り入れる。	・新体力テストを実施する。 ・塩田校舎は「85%」、嬉野校舎は「80%」以上の部活動加入率を目指す。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守し、前年度より30分削減する。	・「定時退勤日+1」を設定する。 ・「学校閉庁日」の設定。 ・部活動休養日の設定。							
	○学校行事の精選と効率的運営	○講演会等の行事の精選を行う。 ○両校舎で実施する行事の検討を行う。	・合同開催できる行事を「3つ」以上実施する。(開校記念行事、文化祭、3学期クラスマッチなど) ・事前に主担当で行事の打ち合わせを行い、計画的に実施できるように連携する。							
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	主な担当者
○進路実現100%	○生徒の希望進路への実現	○キャリア教育の充実のための校外研修を行う。	・外部からの専門技術者を講師として招聘する。 ・学校外での就労体験(インターンシップ等)の推進を行う。							
○身だしなみ指導とマネーアップ	●社会人として必要な身だしなみ・挨拶の質の向上を図る。	○すべての授業、教育活動で身だしなみ・挨拶指導を実践する。	・登校時の挨拶・身だしなみ指導を毎日行う。 ・授業の前に身だしなみチェックを行う。 ・挨拶指導を推奨する。							
○校舎制による円滑な学校運営	○両校舎間の連携	○分掌業務や部活動指導で、「連携が取れた」と回答する職員「85%以上」を目指す。	・合同会議やワーキンググループにより、職員間で合意形成・共通理解を図る。 ・学校行事や部活動など両校舎の一体感を醸成する活動を合同で行う。							
○魅力と活力ある高校づくり	○両校舎の生徒が享受できる教育サービスの均一化を図る ○生徒の安心・安全を確保する	○PTA総会の参加率(委任状を含む)が90%以上になるように取り組む。 ○PTA活動の活性化を図る。 ○メール配信サービスを使い、保護者との連携が迅速にできるようにする。	・授業参観を含め、学校での活動を広報し、参加を促す。 ・両校舎における活動内容のすり合わせを行い、令和5年度総会での承認・一本化しての実施を目指す。							
	★◎SAGASマートラーニング(県指定)に取り組む	○「自分の学校を中学生に勧めることができる」という生徒の割合「78%」、職員の割合「85%」を目指す。	・唯一無二の誇り高き学校として本校の魅力を高め、県内外からの志願者を増加させるとともに、社会にとって有為な人材の育成・輩出を目指すことを目的として、地域・企業・大学等と連携し、年間を通して学校の魅力化を図る。							
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり										
5 総合評価・次年度への展望										